

【情報公開文書】

2021年9月5日作成

Ver.1.0

研究課題名	悪性リンパ腫を中心とする造血器疾患に対する新たな疾患単位を探索するための全体像の把握および基礎的研究
所属（診療科等）	長崎大学病院 血液内科
研究責任者	今泉 芳孝（准教授）
研究機関	<p>《研究代表機関》 久留米大学医学部病理学講座：大島 孝一</p> <p>《共同研究機関》 長崎大学病院 血液内科：今泉 芳孝 その他、全国の約 30 施設で実施しています。</p> <p>詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>詳しい共同研究機関をお知りになりたい方は下記の URL より確認してください。</p> <p>https://www.kurume-u.ac.jp/uploaded/attachment/13111.pdf</p>
研究期間	2021年10月19日～2025年12月31日
研究目的と意義	悪性リンパ腫は血液のがんの一種です。悪性リンパ腫にも様々な種類があり、病気の進行する早さや治りやすさが異なります。また、同じ種類の病気でも、病気の進行や予後が異なり、様々です。多くの患者さんが治るように、様々な検査所見（予後因子）や生物学的所見（バイオマーカー）や治療法での効果の違いを調べることで、そのような病気の性質・予後を明らかにすることを目的としています。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2010年9月1日から2025年12月31日までに悪性リンパ腫を含むリンパ増殖性疾患と診断され長崎大学病院血液内科で診療を受けた患者さん。</p> <p>●利用する情報／試料</p> <p><臨床情報> 身長、体重、病歴、既往歴、血液検査データ（血算、白血球分画、生化学、総タンパク、アルブミン、LDH、可溶性IL-2受容体など）、画像データ（CT、PET、MRIなど）、その他（治療および効果に関する情報など治療経過に関する情報）</p> <p><試料> 病理検体（診断時）</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の</p>

	<p>「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法</p> <p>病理検体を用いて、各種試薬を用いた病理形態学的検討に加えて、検体から抽出した DNA や RNA、蛋白を用いて、遺伝子の発現異常や変異を含めた様々な解析を行います。さらに、臨床情報と組み合わせて病気の性質や治りにくさと関連する所見を検討します。各施設から久留米大学へ送付された試料や診療情報は、どの対象者の情報が特定できないよう匿名化されます。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：加藤 丈晴（医師） 長崎大学病院 血液内科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話：095（819）7380 FAX 095（819）7538</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616</p> <p>受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>